

適用規格							
定 格	使用温度範囲 △ ₁	-55℃ ～ 105℃（注1）		保存温度範囲	-10℃ ～ 60℃（注2）		
	電 圧	信号部 AC 50 V 電源部 AC 200 V		使用湿度範囲	相対湿度85%以下 （但し結露の無いこと）		
	電 流	信号部 0.5 A 電源部 3.0 A		保存湿度範囲			
性 能							
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT AT	
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○ ○	
	表示	目視にて確認する。				○ ○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA（DC 又は 1000 Hz）以下で測定する。		信号部 70 mΩ以下 電源部 20 mΩ以下		○ —	
	絶縁抵抗	信号部 DC 100Vで測定する。 電源部 DC 250Vで測定する。		信号部 100 MΩ以上 電源部 1000 MΩ以上		○ —	
	耐電圧	信号部 AC 150Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○ ○	
		電源部 AC 600Vの電圧を 1 分間印加する。				○ —	
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。		差込力 45 N以下 引抜力 5 N以上		○ —	
	繰り返し動作	100 回の抜き差しを行う。		① 接触抵抗：信号部 80 mΩ以下 電源部 30 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○ —	
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○ —	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。				○ —	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。		① 接触抵抗：信号部 80 mΩ以下 電源部 30 mΩ以下		○ —	
	温度サイクル	温度 -55 → +85℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル 試験する。 （槽の移し換え時間は2～3分）		② 絶縁抵抗：信号部 100 MΩ以上 電源部 1000 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○ —	
	耐熱性 △ ₁	温度 105℃中に 96 時間放置する。		① 接触抵抗：信号部 80 mΩ以下 電源部 30 mΩ以下		○ —	
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。		②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○ —	
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2℃ 75±5%RH 96 時間放置する。 試験規格：IEC 68（対応規格 JIS C 60068）		① コネクタ機能を損なうような腐食が ないこと。 ② 接触抵抗：信号部 80 mΩ以下 電源部 30 mΩ以下		○ —	
	はんだ耐熱性	【 リフロー 】ピーク温度 MAX260℃ 220℃以上 60秒以内		外観の変形及び端子などに著しいガタが ないこと。			○ —
		【 はんだごて 】こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内					○ —
	はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃、浸せき時間 3秒の はんだ付けを行う。		はんだ浸漬面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。		○ —	
	△の数	訂正記事		設計	検図	年月日	
△	2	DIS-F-00002056		TS. 00N0	HT. YAMAGUCHI	17. 01. 31	
備考				承認	HS. OKAWA	15. 07. 15	
注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。				検 図	KN. SHIBUYA	15. 07. 15	
				担 当	TS. 00N0	15. 07. 15	
				製 図	TS. 00N0	15. 07. 15	
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512（対応規格 JIS C 5402）を適用している。							
注 QT：確認試験 AT：製品検査 ○：適用項目				図番	SLC-358054-00-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	FX23L-100P-0.5SV10			
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL573-2105-0-00	△ ₁	1/1	